

ソリューションセッション④ 「RPA+OCR、紙とデジタルの親和性はいかに？」

山田 泰宏 氏

株式会社三井住友フィナンシャルグループ
企画部 業務改革室 上席室長代理

京谷 和樹 氏

三井住友ファイナンス&リース株式会社
システム企画部デジタル企画開発室 チームリーダー



S M B Cグループにおける取り組み

2020年3月末に向けた経費削減計画：△500億円

業務改革による効率性向上（△200億円）

- ➔ RPAを活用し、2018年9月末までにグループ全体で約**160万時間（800人分）**の作業を自動化

RPAによる 業務削減 計画

3カ年計画：
300万時間（1,500人分）

- ➔ 購買・支払、倉庫・物流等の業務を、グループベースで機能集約・シェアード化

リテール店舗改革（△200億円）

- ➔ 2019年度迄に全430拠点の次世代店舗化を実施（利便性・効率性を両立）

グループ内事業再編（△100億円）

- ➔ SMBCフレンド証券とSMBC日興証券の統合完了

強靱なコスト体質を磨き上げる

S M B Cグループにおける取り組み

2020年3月末に向けた人員余力捻出計画：△4,000人

付加価値業務の拡大
(売上 ↑)

- 提案品質向上による営業力の強化
- 本部企画力の強化
- 戦略事業領域にリソースを追加投入

働き方改革の推進
(経費 ↓)

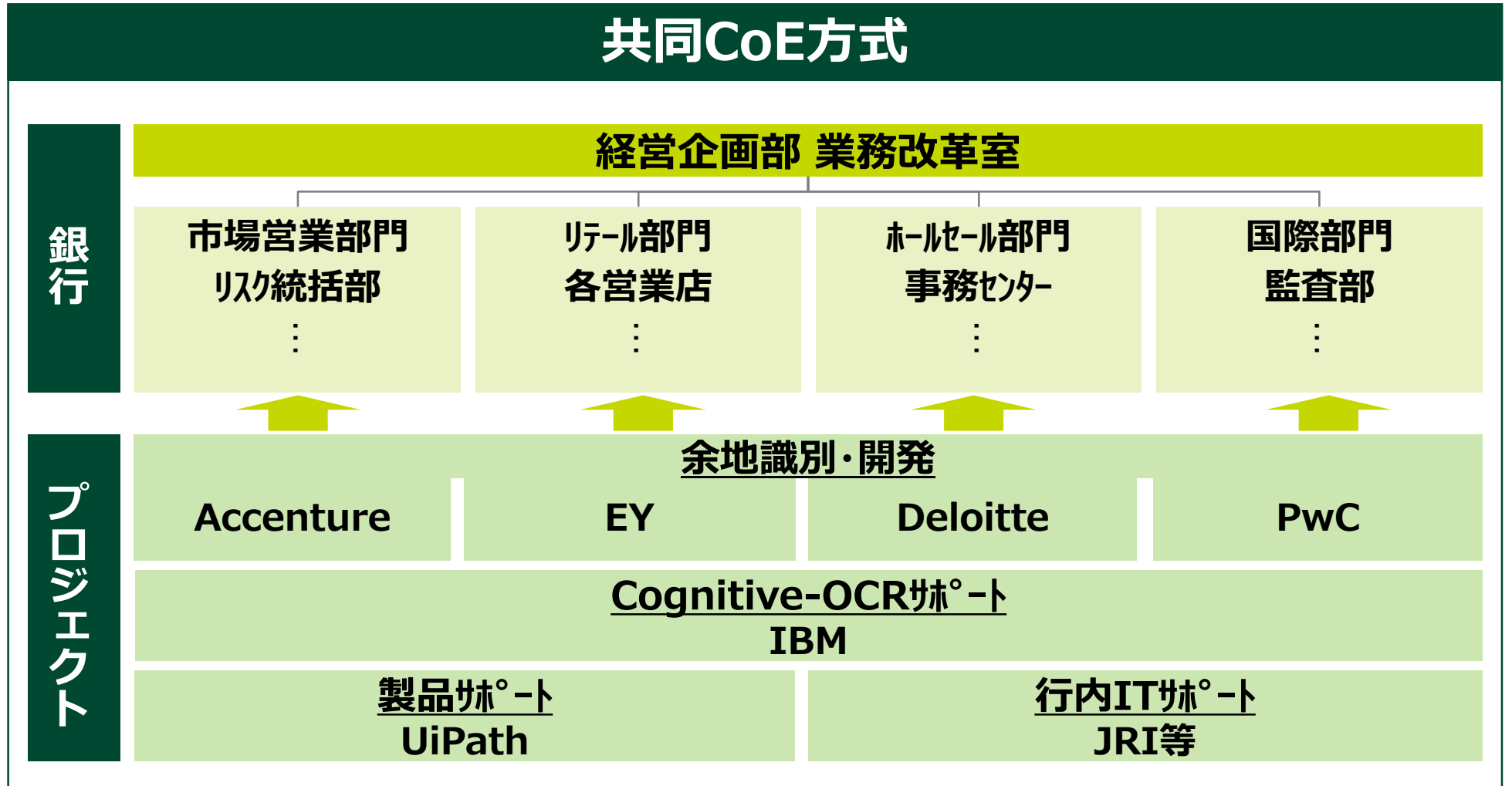
- 仕事の質の向上
- 生き生きと働ける業務環境の整備

人員配置の最適化
(売上 ↑・経費 ↓)

- 業務量増加を現有人員で吸収

圧倒的な生産性向上を実現

SMBC 自動化プロジェクトの概要





自動化プロジェクトの概要

日経ビジネス ('18/4/16 号掲載)

オフィスから農場まで 無人化が止まらない

特集 動き出す無人経済

ムダの徹底排除が競争力に

3万枚をAIが自動仕分け



SMFLキャピタルはRPAやAIを利用した自動化を推進。例えば人間が業務を分類する作業が不要に。(写真=小野 浩志)

日経 X TECH ('18/5/17配信)

Excelマクロ使いが日本の人手不足を解消する

日経 XTECH

記事本文: ソフトウェアの導入(ソフトウェア)によって従来の業務を自動化する技術(RPA)がオフィスワーク(Excelマクロ)と連携し、業務効率を向上している企業が増えている。期待されるのは、業務効率化による生産性向上、業務の自動化によるコスト削減など、業務の効率化による生産性向上。

記事本文: 多くの企業で「Excelマクロ」が業務効率化の鍵となっており、Excelマクロの活用によって業務効率化が進んでいる。Excelマクロの活用によって業務効率化が進んでいる。



日経コンピュータ ('18/6/21 号掲載)



UiPath社Website掲載 弊社導入事例・記事



UiPath社Official Training Partner 提携Press Release('17/10/02)



UiPath社：日本でのサービス体制を本格展開

東京(「BUSINESS WIRE」(ビジネスワイヤ)) – 世界最大のロボティック・プロセス・オートメーション (Robotic Process Automation 以下、RPA) ソフトウェア企業UiPath社の日本法人であるUiPath株式会社(本社 千代田区大手町 代表取締役CEO 長谷川謙一)は、10月よりカスタマーサポートの日本語対応と日本語でのUiPathアカデミー(無料オンライントレーニング)の提供の開始及び研修トレーニングの提供を予定しています。2018年には製品の日本語化を予定しています。

日本語での研修トレーニングは、既に当社製品を積極的に活用している実績を持つ三井住友ファイナンス&リースグループのSMFLキャピタル株式会社(<https://www.smfl.co.jp/>)と提携し、日本語によるアドバンスドトレーニング(有料)を提供する予定です。UiPath製品の実際の導入経験も踏まえたトレーニングをお客様に提供できるようになります。

UiPath株式会社CEO長谷川謙一は次のように述べています。

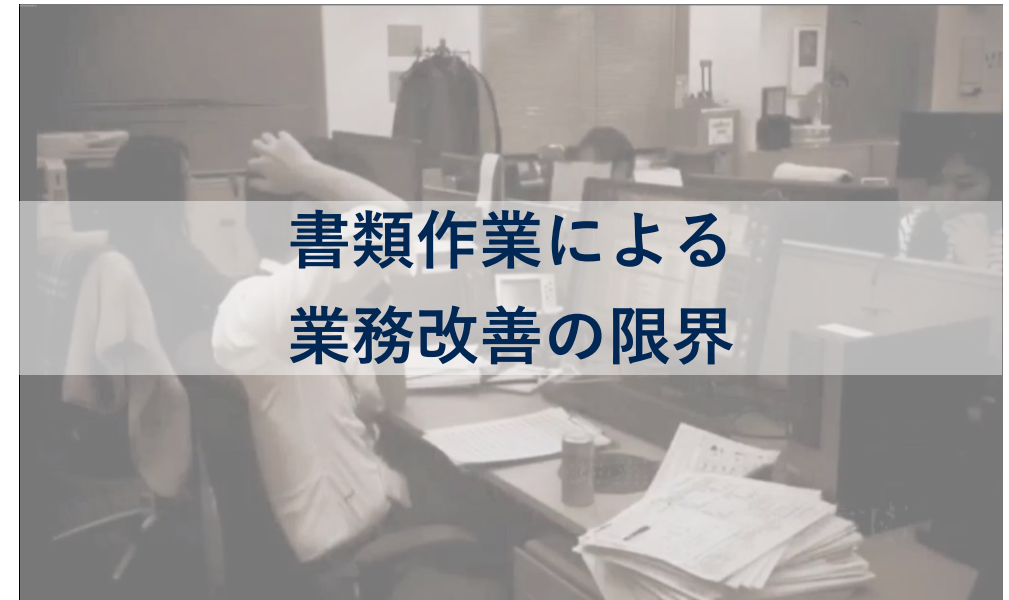
「UiPath社は日本を最重要拠点として投資を行っており、2月の日本法人設立後、既にメガバンクをはじめとする大手金融機関、大手製造業、大手の広告代理店や主要電力会社、さらに、大手運輸業等がお客様となっています。業務の拡大に伴い、現在20名のスタッフが年末までには30名にまで拡大する予定です。今後も日本のお客様からの洗練された要求にきめ細かく対応できるように、製品を強化していくことが、グローバルで最高水準のRPA製品を提供し続けることにつながると思っています。また、日本語化とともに、SMFLキャピタル株式会社と提携し、日本で研修トレーニングの提供を開始できる予定であり、これも、サービス強化の一環です。アドバンスドトレーニングは先進的なユーザー層による実践的な研修トレーニングプログラムであり、世界中のUiPath社でデジタルケースになる新たな取り組みです。これらから、日本のお客

RPAとOCRの連携に関する取り組み



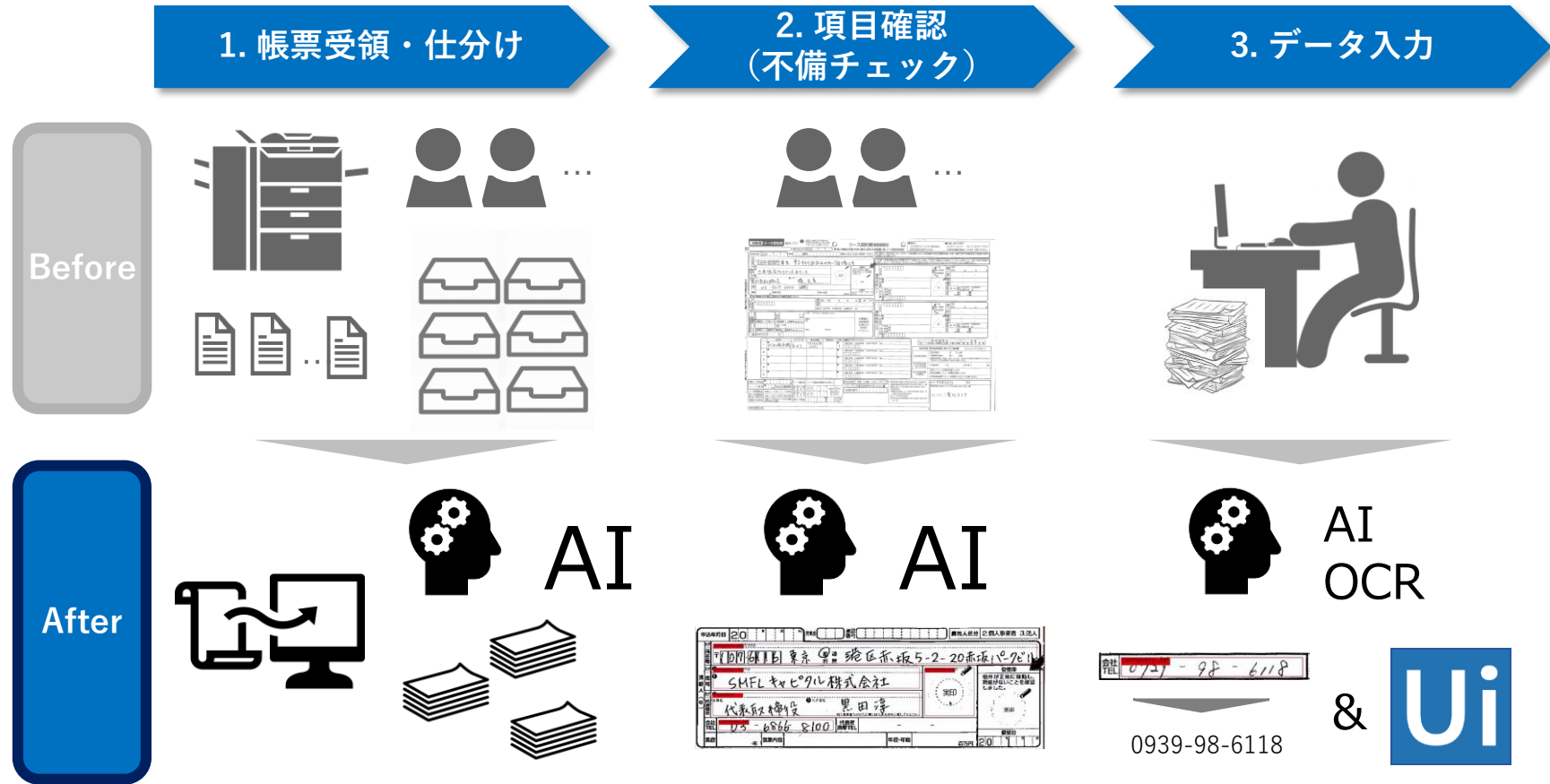
OCR連携による自動化事例

—当社の課題—





OCR連携による自動事例



SMBC OCR連携による自動化合事例

海外送金業務の自動化



受託分なので

- ・システム化が困難
- ・多品種帳票のデータ化困難
- ・期限内に処理しなければならない



OCR + RPAで

- ・既存システム改修が不要
- ・識字精度と保守性を担保
- ・大幅に作業時間を短縮

SMBC O C R連携による自動화事例

実用に向けての壁

- 実用に向けて乗り越えなければならない壁は以下の3つ

① 補正負担軽減

人による補正入力負担をどう軽減させるか？

② 基幹システム 連携

データの基幹システムへの連携をどうするか？

③ 識字性能維持

構築後の識字性能をどう維持/向上させていくか？

今後の展開とUiPathへの期待



- 未だ残る紙帳票を、OCRを活用して自動化領域を拡大
- SMBCグループとして、様々なチャレンジを行うための主体的なサポート
- SMBCグループが蓄積した知見・ノウハウを広く世の中に提供していくための橋渡し役



- Last One Mileの攻略

#UiPathForward Japan

TOKYO, THE PRINCE PARK TOWER TOKYO

Accelerate Everything
日本の自動化を、前へ。

